



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月13日

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所 東
 コード番号 6428 URL http://www.oizumi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 秀治
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,451	△12.8	448	—	277	—	628	—
30年3月期第3四半期	8,549	△18.0	△241	—	△420	—	△514	—

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 604百万円(—%) 30年3月期第3四半期 △497百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	27.93	—
30年3月期第3四半期	△22.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	32,248	14,846	46.0
30年3月期	31,693	14,445	45.6

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 14,846百万円 30年3月期 14,445百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期の期首から適用しているため、平成30年3月期につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	9.0	9.0
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	9.0	9.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,740	△3.4	540	—	420	—	440	—	19.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期3Q	22,500,000株	30年3月期	22,500,000株
31年3月期3Q	4,571株	30年3月期	4,571株
31年3月期3Q	22,495,429株	30年3月期3Q	22,495,429株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年12月31日)におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化による世界経済への影響や金融資本市場の変動など不透明感が拡散しつつあるものの、雇用・所得環境の改善等が進むなか景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの主要販売需要先となる遊技場は、平成30年2月1日いわゆる改正遊技機規則が施行され、設置期限が残っている旧規則機と新規則適合機が混在するなど関連設備機器全般の需要も本格的な回復に至りませんでした。

このような状況のなか、機器事業は、設備機器部門において、メンテナンスフリーを可能にする『樹脂研磨式メダル自動補給システム』と複数の貸し玉単価にフレキシブルに対応する『多機能IC玉・メダル貸機』の拡販に引き続き注力いたしました。また、遊技機部門においては、リリースしたパチスロ機の販売実績が予想値を大きく下回り、コア事業とする機器事業全体の売上高は前年同期を下回ることとなりました。

不動産事業は、安定的な収益を確保いたしました。

電気事業は、連結子会社/神奈川電力株式会社が神奈川、栃木両県の太陽光発電所(発電能力合計24メガワット)を順調に稼働させております。

コンテンツ事業は、連結子会社2社/株式会社オーイズミ・アミュージオ、及び株式会社レッド・エンタテインメントがパッケージゲーム、オンラインアミューズメント、アニメキャラクターの企画制作等の事業を行いました。

その他の事業は、連結子会社/妙高酒造株式会社が酒造・酒販事業を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高7,451百万円(前年同期比12.8%減)、経常利益277百万円(前年同期は420百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益628百万円(前年同期は514百万円の損失)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業は、当第3四半期は売上高5,511百万円(前年同期比15.9%減)、セグメント利益338百万円(前年同期は316百万円の損失)となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、当第3四半期は売上高500百万円(前年同期比2.2%減)、セグメント利益248百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

(電気事業)

電気事業は、当第3四半期は売上高778百万円(前年同期比0.4%増)、セグメント利益253百万円(前年同期比30.5%増)となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業は、当第3四半期は売上高490百万円(前年同期比3.8%減)、セグメント損失5百万円(前年同期は7百万円の損失)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、当第3四半期は売上高170百万円(前年同期比13.9%減)、セグメント損失26百万円(前年同期は5百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(平成30年3月31日)に比べ555百万円増加し、32,248百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,883百万円増加し、14,100百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加(2,332百万円増)、その他に含まれる前渡金の増加(464百万円増)の一方で、受取手形及び売掛金の減少(442百万円減)、電子記録債権の減少(120百万円減)、商品及び製品の減少(216百万円減)、仕掛品の減少(172百万円減)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,328百万円減少し、18,148百万円となりました。これは主に機械装置及び運搬具の減少(372百万円減)、土地の減少(994百万円減)、貸倒引当金の増加(178百万円増)の一方で、長

期貸付金の増加(201百万円増)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ153百万円増加し、17,401百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加(409百万円増)、未払法人税等の増加(226百万円増)の一方で、1年内返済予定の長期借入金の減少(103百万円減)、流動負債その他に含まれる前受金の減少(139百万円減)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ401百万円増加し、14,846百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(425百万円増)によるものです。

この結果、自己資本比率は46.0%と前連結会計年度末に比べ0.4ポイント増加しました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の業績予想につきましては、平成30年5月11日付決算短信の発表数値からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,492,713	7,825,439
受取手形及び売掛金	2,141,332	1,699,110
電子記録債権	1,213,805	1,092,952
商品及び製品	877,446	661,184
仕掛品	746,347	573,814
原材料	1,054,855	1,014,973
コンテンツ	3,074	825
その他	689,457	1,234,246
貸倒引当金	△2,940	△2,500
流動資産合計	12,216,093	14,100,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,219,267	4,227,198
機械装置及び運搬具(純額)	4,215,371	3,842,696
土地	9,413,097	8,418,581
その他(純額)	124,977	121,926
有形固定資産合計	17,972,713	16,610,403
無形固定資産		
ソフトウェア	119,365	132,815
のれん	67,453	54,805
その他	12,347	21,688
無形固定資産合計	199,166	209,309
投資その他の資産		
投資有価証券	350,886	319,386
長期貸付金	1,052,000	1,253,000
繰延税金資産	60,062	85,956
長期前払費用	382,567	375,457
その他	303,965	316,966
貸倒引当金	△844,300	△1,022,357
投資その他の資産合計	1,305,181	1,328,407
固定資産合計	19,477,062	18,148,121
資産合計	31,693,155	32,248,167

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,284,105	1,693,521
短期借入金	1,140,000	1,140,000
1年内返済予定の長期借入金	2,442,198	2,338,504
未払法人税等	119,067	345,071
賞与引当金	39,913	12,206
製品保証引当金	7,000	7,000
返品調整引当金	4,220	3,734
販売促進引当金	—	21,650
その他	581,020	314,810
流動負債合計	5,617,525	5,876,498
固定負債		
長期借入金	9,997,043	9,934,406
リース債務	22,191	16,764
繰延税金負債	377	336
役員退職慰労引当金	521,812	528,393
退職給付に係る負債	56,999	54,715
長期預り保証金	701,135	666,670
資産除去債務	331,063	323,518
固定負債合計	11,630,623	11,524,805
負債合計	17,248,148	17,401,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	12,707,137	13,132,943
自己株式	△4,271	△4,271
株主資本合計	14,383,465	14,809,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,540	37,590
その他の包括利益累計額合計	61,540	37,590
純資産合計	14,445,006	14,846,862
負債純資産合計	31,693,155	32,248,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	8,549,275	7,451,355
売上原価	7,451,955	5,718,742
返品調整引当金繰入額	△463	△485
売上総利益	1,097,783	1,733,099
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	172,363	133,577
販売促進費	110,056	47,454
役員報酬	163,810	159,445
給料手当及び賞与	202,078	198,392
賞与引当金繰入額	7,309	6,509
退職給付費用	10,716	8,207
役員退職慰労引当金繰入額	6,580	6,580
製品保証引当金繰入額	12,000	7,000
貸倒引当金繰入額	△548	18,617
販売促進引当金繰入額	—	21,650
その他	654,541	677,577
販売費及び一般管理費合計	1,338,909	1,285,012
営業利益又は営業損失(△)	△241,126	448,086
営業外収益		
受取利息	3,221	4,403
受取配当金	7,670	6,545
企業立地奨励金	39,300	34,282
その他	21,838	25,215
営業外収益合計	72,030	70,446
営業外費用		
支払利息	65,594	59,692
貸倒引当金繰入額	175,723	159,000
その他	9,798	22,244
営業外費用合計	251,116	240,937
経常利益又は経常損失(△)	△420,211	277,595
特別利益		
固定資産売却益	49,352	633,310
違約金収入	—	100,000
特別利益合計	49,352	733,310
特別損失		
固定資産除売却損	14,914	750
役員退職慰労金	—	3,000
特別損失合計	14,914	3,750
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△385,773	1,007,155
法人税、住民税及び事業税	100,470	394,275
法人税等調整額	27,806	△15,384
法人税等合計	128,276	378,890
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△514,050	628,265
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△514,050	628,265

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△514,050	628,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,869	△23,949
その他の包括利益合計	16,869	△23,949
四半期包括利益	△497,181	604,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△497,181	604,315
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	6,553,901	511,583	775,662	510,338	197,788	8,549,275	—	8,549,275
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	34,815	—	25,326	569	60,711	△60,711	—
計	6,553,901	546,398	775,662	535,665	198,358	8,609,986	△60,711	8,549,275
セグメント利益又は損失(△)	△316,417	254,434	194,572	△7,036	5,709	131,262	△372,388	△241,126

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△372,388千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	5,511,052	500,274	778,996	490,738	170,294	7,451,355	—	7,451,355
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	31,755	—	5,350	589	37,694	△37,694	—
計	5,511,052	532,030	778,996	496,088	170,883	7,489,050	△37,694	7,451,355
セグメント利益又は損失(△)	338,017	248,799	253,891	△5,827	△26,450	808,429	△360,343	448,086

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△360,343千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。